

1. 件名：福島第一原子力発電所における使用済セシウム吸着装置（SARRY、KURION）からの吸着材採取に係る計画に関する面談
2. 日時：令和4年3月16日（水）13：00～15：00
3. 場所：原子力規制庁6階会議室
4. 出席者：
原子力規制庁 原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
岩永企画調査官、高松専門職、高木技術参与
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー（テレビ会議システムによる出席）
福島第一原子力発電所 担当2名
5. 要旨：
 - 東京電力ホールディングス株式会社から、使用済セシウム吸着装置（SARRY、KURION）からの吸着材採取に係る計画について、以下の説明を受けた。
 - SARRY 及び KURION の吸着塔の内容器に開口を設けて、8 サンプル（SARRY：4 サンプル、KURION：4 サンプル）を採取する
 - 採取したサンプルは一時保管し、2023 年度以降に日本原子力研究開発機構の研究施設等に運搬して分析する
 - 採取装置（ISM）により、汚染拡大防止のバウンダリーの構築及び作業員の被ばく低減を図る
 - 採取作業は高性能多核種除去設備建屋内に仮設ハウスを設置して行い、作業期間は半年間程度を予定し、採取完了後、関係設備は撤去する
 - 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、以下のコメント等を伝えた。
 - サンプルングを行う対象の吸着塔を示し、選定理由を説明するとともに、線量率等のデータも示すこと。
 - 高性能多核種除去設備建屋内を採取場所として選定した理由について説明すること。また、計画している作業場所を配置図で示すとともに、そこに設置することにより高性能多核種除去設備への運転上の悪影響や波及的影響がないことについて詳しく説明すること。
 - 採取における放射線環境下作業、特にダストに対する防護対策について、最近のHICからのスラリ関連作業の実績からの知見に対する当該作業への反映を含めて整理して説明すること。
6. その他
資料：SARRY、KURION からの吸着材採取について